

教会報ほんじょ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2
TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732
http://www.catholic-honjyo-church.org

INDEX

- 「着任のあいさつ」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他
- 「聖週間・
過越の聖なる3日間」

「着任のあいさつ」



主任司祭
パウロ 豊島 治

着任のご挨拶を申し上げます。

個人的にこの地について思い出すのは、助祭となる前の神学生時代、浅草教会に滞在していたことがあり、伊藤幸史神父様と共に本所教会を訪問いたしました。

当時宣教協力が発足し、上野教会と共にこの3つの教会は「下町」の名を選び下町宣教協力体として今日に至っています。

この「下町」という冠をいただくに至っての軌跡は簡単なものではなく、伊藤世話人司祭のタフな交渉があったと記憶しています。

私は司祭となって今までの17年間のうち1年間を除いて多摩地域の教会を歴任してきました。ですからこの「下町」に前任の渡邊神父様との引き継ぎの話のために久しぶりに降り立って感じたのは、新型コロナウイルス感染症についての向き合い方の雰囲気の違いです。

例えば、コンビニでのトイレをお借りすることができないと言われました。

幸い近辺には公園がありその設備もありますので事足りることが分かりましたが、とても困りました。それだけ綿密に対策を継続してきたのでしょうか。

感染拡大防止の多くの取り組みは私たちに予防の意識を高めました。一方では急速にオンラインシステム、そして人の集まり方を変えました。それが2年以上続いています。

もはやいわゆるコロナ前にそのまま戻することはできず、新しい試みを繰り返しながら社会が形成されていくと言われます。事実私はコロナ前の本所教会の様子を知らないのです。

これからも世の中は試行錯誤の繰り返しでしょう。

本所教会の音響システムが変わって初の主日ミサは4月24日の神のいつくしみの主日でした。この日、東京カテドラルでは菊地功東京大司教司式のミサにおいて「カリタス東京」の設立が述べられました。詳しくは「東京教区ホームページ」（2021年8月8日お知らせ）、「司教の日記」（2022年4月24日・当日の説教の文章含む）に記されていますが、豊かな器が用意された感じがします。私たちが神から与えられた良いものをどう生かすか、そのことを互いに育み合ってゆることができればと思います。



東京教区HP



司教の日記

（左記QRコードのホームページを参照してください）

